

作成日 2020年03月13日
改訂日



安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	D7 Part 2
製品コード	A-0266
会社名	豊原株式会社
住所	福岡県福岡市東区香椎5丁目25-16
電話番号	080-4876-2847
緊急時の電話番号	Chemtrec 1-800-424-9300 CCN681371
FAX番号	092-692-2316
メールアドレス	support@d7japan.com
推奨用途	清掃用
使用上の制限	情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷・眼刺激 区分2A 刺激性
-----------	---

ラベル要素 絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H315皮膚刺激
H319強い眼刺激

注意書き

【安全対策】
P264取扱後はよく手を洗うこと。

P280保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

P302+P352皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。

P305+P351+P338眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P321特別な処置が必要である（本SDSの4. 応急措置を参照）

P332+P313皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

P337+P313眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

P362+P364汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

物質名	CAS	化審法番号	濃度(%)
過酸化水素	7722-84-1	1-419	5.9
水	7732-18-5	-	94.1

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

水で15分間注意深く洗うこと。眼の刺激が続く場合には医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。無理に吐かせないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

データなし

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた処置を行う。

5. 火災時の措置

<p>消火剤</p> <p>使ってはならない消火剤 特有の危険有害性 特有の消火方法 消火を行う者の保護</p>	<p>水噴霧、粉末消火剤、炭酸ガス。容器やタンクを水噴霧で冷却すること。</p> <p>炎を広げる恐れがあるため、放水は行わないこと。 火災の際には、容器やタンクを水噴霧で冷却すること。 データなし 適切な空気呼吸器、NIOSHまたはMSHA承認（もしくは同等）のマスク、化学用保護衣を着用すること。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p>	
<p>人体に対する注意事項、保護具および緊急措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め方法</p> <p>浄化方法</p>	<p>適切な換気を行い、ばく露レベルが許容濃度を超過しないようにすること。</p> <p>漏出が発生した場合には、法で要求に基づいて適切な当局に報告を行うこと。</p> <p>安全が確保された場合には、さらなる漏出を防ぐ措置をとること。</p> <p>液体を封じ込め、中間物、不燃物として収集する。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p>	
<p>取扱い 安全取扱い注意事項</p> <p>保管 安全な保管条件</p> <p>混触危険物質</p>	<p>皮膚および眼との接触を避けること。蒸気やミストを吸わないように気をつけ、適切な換気を行うこと。容器を熱、炎、またその他発火の原因となるものを避け、涼しい場所で保管すること。また、容器を傾けて保管してはならない。</p> <p>容器は密閉の上、乾燥した換気のよい場所に保管すること。</p> <p>提供された情報によれば、既知のものは無い。</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置</p>	
<p>管理濃度</p> <p>許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）</p> <p>日本産衛学会 ACGIH</p> <p>設備対策</p>	<p>未設定</p> <p>未設定 TLV-TWA: 1ppm（過酸化水素） 安全シャワー、洗眼器、換気装置を設置すること。</p>

保護具 呼吸器の保護具

ばく露限界値を超過してばく露する場合や、刺激を感じた場合には、NIOSH/MSHA認証を取得した(もしくは同等の)呼吸器保護具を着用すること。大気中の汚染物質濃度が高い場合には、陽圧呼吸器保護具の使用を推奨する。呼吸器保護具は、各地域の法令に則って提供されなければならない。

**眼の保護具
皮膚及び身体の保護具**

サイドシールドのついた保護メガネを着用すること。
保護衣、保護手袋を着用すること。労働安全衛生上適切な取扱いをすること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状 形状
色
臭い
pH
融点・凝固点
沸点、初留点及び沸騰範囲
引火点
自然発火温度
燃焼性(固体、ガス)
爆発範囲
蒸気圧
蒸気密度
比重(密度)
溶解度
オクタノール・水分係数
分解温度
粘度
粉じん爆発下限濃度

液体
透明
弱い
データなし
データなし
100° C
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
データなし
1.029
水:事実上不溶
データなし
データなし
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

安定性
化学的安定性
危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

データなし
通常取扱い条件下では安定である。
通常取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
過剰な温度、直射日光。
提供された情報によれば、既知のものは無い。
提供された情報によれば、既知のものは無い。

11. 有害性情報

急性毒性 吸入
経皮
経口

皮膚腐食性・刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)

吸引性呼吸器有害性

LC50(Rat): 2 mg/l, 4h (過酸化水素)

LD50 (Rabbit): 2000 mg/kg (過酸化水素)

LD50(Rat): 801 mg/kg (過酸化水素)

皮膚刺激性: 区分2

皮膚刺激

眼刺激性: 区分2A

強い眼刺激

データなし

データなし

IARCでグループ3、ACGIHでA3と分類されている。

生殖毒性を有する既知の物質は含有しない

データなし

データなし

データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

水生環境慢性有害性

データなし

[過酸化水素]

魚: LC50 = 10.0 - 32.0 mg/l

甲殻類: EC50 = 18 - 32 mg/l

残留性・分解性

生体蓄積性

土壤中の移動性

他の有害影響

データなし

データなし

データなし

データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号 (UNNo.)	危険物として規制されていない
	国連品名	危険物として規制されていない
	国連危険有害性クラス	危険物として規制されていない
	容器等級	危険物として規制されていない
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL73/78附属書II及びI	非該当
	BCコードによるばら積み輸送される液体物質	
国内規制	海上規制情報	非該当
	航空規制情報	非該当
	陸上規制情報	非該当
特別安全対策		移送時にイエローカードの保持が必要。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法	危険物、指定可燃物に該当しない。
化審法	
優先評価化学物質	過酸化水素 (官報公示番号: 1-419)
労働安全衛生法	
名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第57条の2 (施行令別表第9)	過酸化水素 (政令番号: 9-126)
名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第57条 (施行令第18条)	過酸化水素 (政令番号: 9-126)
危険物	過酸化水素 (政令名称: 過酸化カリウム、過酸化ナトリウム、過酸化バリウムその他の無機過酸化物、政令番号: 3)
毒物及び劇物取締法	毒物、劇物に該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成したものであり、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、安全を保証するものではありません。安全データシートは当該製品を安全に取り扱いするための情報を提供するものであり、本記載内容は製品の性能を保証するものではありません。

略語：

ACGIH(American Conference of Governmental Industrial Hygienists)：米国産業衛生専門家会議

TLV-TWA：時間荷重平均濃度

TWA：時間加重平均

ATE：急性毒性推定値

LD50：半数致死量

LC50：半数致死濃度

EC10：半数効果濃度

NOEC：無影響濃度

NOAEL：無有害作用量

NOAEC：無毒性量

参考URL

- ・日本産業衛生学会
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)
- ・厚生労働省 職場の安全サイト